

# 令和4年度かわさき教師塾

## ☆『明日の先生日記』☆

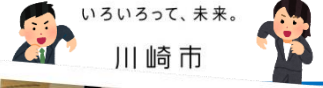
子どもの笑顔が  
あふれるまち  
かわさき



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市



2月18日(土) 午前は、学校で求められる教員についての講義、午後は、今年度の教師塾での学びを振り返り、めざす教師像や今後の取組等についての受講生同士の交流が行われました。

### 令和5年2月18日(土) 日程

- 10:05 危機管理
- 11:05 今、教員に求められること
- 12:00 ~昼食・休憩~
- 12:20~12:50 教員採用試験個別相談会(別会場)
- 13:00 受講者振り返り グループ交流
- 14:40 閉講式 事務連絡 15:00 終了



〇危機管理では、現在の避難訓練が実際の災害時を想定したものになっているか考えさせられるよい機会になった。  
 〇学校は、「児童生徒の命を預かる場所」「自分で生き抜く力を身に付ける場所」という言葉が印象に残りました。  
 〇学校での不測の事態は、災害や不審者の侵入など様々あるが、共通していることは子ども達の命を守ることであり、そのために教師はそれらの対応をシミュレーションしておくことが重要だと深く認識した。  
 〇「見方・考え方」の在り方について、とても印象に残った。「知識・技能」「思考」「リアル」の関連付けを意識して授業づくりをしたい。  
 〇「理解の仕方で指導が変わる」という言葉が一番印象に残った。「困った子」ではなく「困っている子」と捉え、何に困っているのかという内面、目に見えない背景を見とることが大切だと分かった。  
 〇サポーターとして児童との関わり方に悩んでいましたが「抱え込まない」「チームでないとできない」という言葉に救われました。



**教員という仕事は**  
**宝探し**  
 課題があるのは成長できるし「問題」が表面化することを恐れない子どもに成長を促せる「課題」にとり組み、「育ち」につなげる  
**70の技を駆使して、子どもと一緒に冒険に立ちよう!**

### 【自身の変容】【こんな教員になりたい】

- ❖ 1回目の「なりたい教員」と最終日に書いたものを比べると、より具体的になり、それに向けて今後何をするか明確になっていることが分かり嬉しかった。モチベーションにもなった。
- ❖ 「自分が教員として〇〇したい」から「児童が〇〇できるように…」と、なりたい教師像の主語が変わったことが分かりました。
- ❖ 最初は、全然漠然とした理想の教師像であったけど、ここで学んだことで具体的になって、自分が目指したい教師像の軸が決まった気がします。本当に充実した濃い講義でした。
- ❖ 以前より子どもにフォーカスした考え方に変わったように感じた。自分の達成感や成長させたことの実感よりも、子どもが自己有用感を持つためにできることは何か、自分が何を学んでいくべきかを意識するようになった。
- ❖ ずっとフワフワとした目標を掲げていた。そのために、どんなことに取り組めばいいのかわらなかつた。「輝☆」を受講して、目標に近づくための道を知れたかな?と思う。
- ❖ 講義を経て、「子どもの気持ちがよく分かり、より良く成長させられる教師」になりたいと思うようになった。自分の力で幸せになり、仲間と共に生きることができるよう力を身に付けさせたい。
- ❖ 自らが教員として学校現場に立つことへの責任感や使命感を強くもてるようになったことが分かった。「子どもの学びや自信を引き出し、共に学び成長する教員」になれるよう努力していきたい。
- ❖ 教員の学びに終わりはないことが分かった。時代の流れや子どもとの関わり、保護者や周りの先生との関わり、すべてが学びにつながると思った。学び続ける力、変化を恐れず変わり続ける力をもった良い教員になる第一歩となるような貴重な時間でした。
- ❖ 自分が子どもにこうさせたいというのではなく、子どもの主体性や個性尊重などのために、自分は何かができるのか、軸を子どもにして考えることで見えてくるものがあると学びました。



### 【かわさき教師塾を受講して】

- ◆ 一番印象に残っているのが、かわさき教育プランの講義です。目標とする街づくりのために、子どもたちにどんな大人になってほしいのか、そのために何を改善する必要があるか、かわさき教育プランを通して見通しを立てることができるように感じました。
- ◆ 12回の講義、演習を行い、川崎市の人柄や温かさに触れながら様々な事を学ぶことができたと感じています。
- ◆ この教師塾自体が、良い授業づくりのヒントになっていたと思います。グループ学習や他のグループを見に行く活動、インプット・アウトプットの機会もほとんどの回で設けられていた。様々な学びのヒントがある教師塾の機会をいただき感謝します。
- ◆ 教員になりたいという同じ夢を持っている皆さんと意見交流や学び合いができ、なかなかできない経験ができてとても良かった。
- ◆ このメンバーと教師塾を受けることが今日で最後ということが信じられないくらいアツという間で、学びの多い6日間でした。
- ◆ 今まで自分の意見をなかなか言い出せませんでした。同じ川崎市の教員を目指す方々が自分の意見を受け入れてくれたおかげで意見を怖がらずに言えるようになりました。また、他の人の意見を取り入れ、考えを再構築することもできるようになりました。
- ◆ 他大学の学生と意見を交わし合える機会はとても貴重であり、特にコロナ禍で人との関わりが制限されていたので、同じ教師を目指す仲間を多く知ることができ、その大切さを身をもって感じた。
- ◆ 大学は違うけど、グループワークを通して、熱い教師観について語り合うことができ、とても刺激になりました。川崎の教員として、また会えることができるよう頑張ります!



問題解決型の学習  
 かかわり合い  
 高い興味関心  
 主体的・対話的で深い学びの実現  
 学び続ける教員

コロナ禍での6日間、すべて集合形式で開催することができました。同じ志をもつ仲間との出会い、互いを尊重し合いながらの意見交流、見方・学び方の深まり、新たな価値観を捉える豊かな感性、「緩やかにつながりと穏やかな時間」、私たちにとっても貴重で素敵な時間を共有できたことを心から嬉しく思っています。半年間の受講、ありがとうございました。教師塾担当の指導主事が学校で働いていた頃の教え子だった受講生との出会いもありました。「明日、子どもの前に立っている私」…先輩の先生方は、皆さんと一緒に川崎の子どもたちの成長に関わる「明日」を心待ちにしています。

